

令和元年度第1回伊賀市青少年センター運営委員会 議事録

- ◆ 開催日時 2019（令和元）年7月30日（火） 午後1時30分から午後3時00分
- ◆ 開催場所 ハイトピア伊賀5階 学習室2
- ◆ 出席委員 13名
河 口 委 員 竹 岡 委 員 松 山 委 員 奥 中 委 員
吉 川 委 員 玉 岡 委 員 森 岡 委 員 峰 委 員
中 居 委 員 森 嶋 委 員 松 本 委 員 岡 山 委 員
若 山 委 員
- ◆ 欠席委員 9名
- ◆ 事務局 谷口教育委員会事務局長兼青少年センター長
中林教育委員会事務局次長
清水生涯学習課長 上島生涯学習課副参事
林学校教育課主幹
藤林青少年センター主任補導員
清水青少年センター主任補導員
- ◆ 傍聴者 0名

司 会

定刻となりましたので、ただ今から令和元年度第1回伊賀市青少年センター運営委員会を開催させていただきます。本日は、大変お忙しいところ、お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。

私は、生涯学習課課長の清水と申します。よろしくお願い致します。

この委員会は、伊賀市青少年センター条例の第4条第8項に基づき、本日、全委員22名のうち13名ご出席をいただいております、委員の半数以上が出席をされていますので、会議が成立していることを報告させていただきます。

つきましては、伊賀市情報公開条例第23条に基づき、会議の公開を行うとともに、審議会等の会議の公開に関する要綱第8条に基づく、会議録の作成が必要であるため、録音をさせていただきますのでご了承いただきたいと思います。

それでは、会議の初めにあたりまして、伊賀市青少年センター所長であります谷口のご挨拶申し上げます。

1 あいさつ

みなさん、こんにちは。

本日は、大変お忙しい中運営委員会にご出席をいただきまして有り難うございます。

普段は、子どもたちをさまざまな形で見守っていただき、本当に助かっています、有り難うございます。

また、この度は当委員会の委員をお引き受けいただき、大変感謝しています。本当に有り難うございます。

今年は、比較的去年と比べると涼しいと思っていたところ、梅雨明けと共に暑い日となり、今日も本当に暑い日ですが、子どもたちは7月20日に一学期を終了し、夏休みになっています。

中学校では、部活、中体連の試合も始まり、熱中症に気を付けながら進めています。

さて、将来を担う青少年が明るく健やかに育っていくことは、親の願いであり、市民の全ての願いであります。しかしながら、青少年による非行やいじめの問題、虐待など、依然としてさまざまな課題が新聞やニュースなどで報道される状況です。

青少年センターが補導に回る中で、ゲームセンターなどで青少年や子どもたちを見かけるということはだんだん減ってきていると聞いております。しかし、ネット社会であ

り携帯電話などでの子どもたちの犯罪やトラブルに巻き込まれること。巻き込まれるだけではなく、さまざまな問題を起こすということもあります。そういう意味では、トラブルの状況が見え難くなっているという状況もございます。

しかし、補導に回って行く中で、さまざまな形で地域が見守っているということで、犯罪の防止になっているということも事実であります。これからも、さまざまな形でお願いができたらと思っております。この後で、学校からの報告もございますが、暴力行為などは減ってきている一方、不登校の児童、生徒が多くなってきている。また、いじめに関しては、3年前からいじめの定義が変わってきておまして、本人が嫌なこと、本人がいじめだと感じれば、それは「いじめ」なんだと認定して、たくさん見つけて、子どもたちの中に手を入れて行って、早期に解決をしていくということを行っていますので、数としては多くなってきていますが、深刻な問題は発生していないし、ほとんどが解決していると聞かせてもらっています。

このような中で、私たちおとながそれぞれの役目と責任を果たしつつ、学校や地域が一体となって青少年育成のための取り組みを進めていくことが、今後も大事であると思っております。本日は、皆様方からご意見を頂戴し、昨年度の反省をもとに、今後の活動につなげてまいりたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。簡単ではございますが、これで私のあいさつとさせていただきます。

2 委嘱状交付 (※任期満了に伴う委嘱状交付)

司 会

次に、本年5月末をもって任期満了となり、新たに令和3年5月31日までの2年間の任期による委員の委嘱状を、谷口センター長から交付させていただきます。お手元の資料15ページの委員名簿をご覧ください。

それでは、名簿の順にお名前をお呼びさせていただきますので、ご起立をお願い致します。

(谷口センター長から委嘱状 交付)

河口弘信 (かわぐち ひろのぶ) 様	竹岡良昌 (たけおか よしまさ) 様
松山和夫(まつやま かずお) 様	奥中清彦 (おくなか きよひこ) 様
吉川博子(よしかわ ひろこ) 様	玉岡則生 (たまおか のりお) 様
森岡美代子 (もりおか みよこ) 様	峰八重子 (みね やえこ) 様
中居常量 (なかい つねかず) 様	森嶋久伸 (もりしま ひさのぶ) 様
松本ひろみ (まつもと ひろみ) 様	岡山幹治 (おかやま かんじ) 様
若山昂央 (わかやま たかお) 様	

なお、

岩寄清悟 (いわさき きよさと) 様	松井慎治 (まつい しんじ) 様
中浦基之 (なかうら もとゆき) 様	廣岡伸幸 (ひろおか のぶゆき) 様
橋本正興 (はしもと まさおき) 様	松田美紀 (まつだ みき) 様
前川三郎 (まえがわ さぶろう) 様	上山了 (うえやま さとる) 様
田中 満 (たなか みつる) 様	

につきましては、本日ご公務のため欠席との連絡をいただいております。

それでは、委員の皆様2年間どうぞよろしくお願い致します。

それではここで、伊賀市青少年センター条例第4条第5項により、委員長及び副委員長を選任いただきたいと思います。いかがいたしましょうか。

委 員 事務局一任

司 会 事務局一任の声がありましたので、事務局案がございます。委員長に、若山昴央さん、副委員長に、玉岡則生さんに、お願いをしたいと思います、いかがでしょうか。

委員全員 (拍手により承認)

3 協議事項

(1) 平成30年度活動報告について

資料により、事務局から説明

議 長 ただいま事務局から説明がありました。何かご意見、ご質問はございませんか。

委 員 12頁の巡回補導についてですが、他市では子どもたちが巡回補導の時間を知っているようなケースがあるので、伊賀市では、巡回時間を変更して補導をしたり、巡回経路の変更などを行っているのかをお聞きしたいです。

事務局 前月に次月の巡回経路を決定しています。しかし、先ほどの説明にもあったように不審者情報などがあつた場合には、そちらへの巡回補導を行います。

また、伊賀市は広いので、どこをどのように巡回しているかは、他市では知ることがあるとおっしゃっていただきましたが、伊賀市では子どもたちは知らないと思います。

定時補導については、補導する場所が固定しています。ゲームセンターやカラオケボックス、ハイトピアなどの決まったところを巡回するようになっているので、それについては有り得るかもしれませんが、巡回している中で、そこまで子どもたちが補導を意識しているようには私は感じていません。

・ 平成30年度における課題について (報告)

資料1により、学校教育課から説明

議 長 情報化社会が進む中で、厳しい状況にある子どもたちがおるということを認識し、小、中学校においてしっかり取り組んでいただいていることも報告をいただきました。委員の皆さまから、何かご質問、または今後の課題等などご意見があれば、ご発言をお願いします。

委 員 小、中学校での不登校の比率、また、不登校の最大の原因は、いじめなのかどうか。教えていただけたらと思います。

事務局 平成30年度での不登校ですが、小学校で38人、中学校で85人の123人となっていて、不登校の要因ですが、多岐に渡っています。家庭の貧困、学力の低下、友だち関係など、さまざまな要因があります。伊賀市では、伊賀市適応教室「ふれあい教室」を教育研究センターへ開設をしています。昨年度不登校の生徒33人が通っていました。うち中学3年生が10名おりましたが、全員高校へ進学をしました。また、半数の生徒が学校へ復帰をしています。

委 員 不登校の子どもに対して、個人的に家庭訪問などをして関係を築いていますが、学校等ではどのような対応しているのか聞かせてください。

事務局 学校だけの対応は難しいところもあるので、スクールカウンセラーや最近増えてきているスクールソーシャルワーカーが、子どもたちを取り巻く環境を整えていくような対応をしています。

例えば、貧困の問題を抱えている家庭であれば、それを解決することで子どもが安定していくのではないかと。そのような部分を、市へつなげています。

こども未来課では、虐待について対応していますが、不登校の子どもについては、その子どもの安否、元気に過ごしているかどうかを学校では把握しきれないところもあるので、その部分をこども未来課で訪問いただき把握しているケースもあります。多くの方の力をお借りしながら対応している状況です。

議長　やはり学校だけではいけないので、地域全体でやっていかなくてはいけないと思います。委員の皆様のお力をおかれますとも、ご協力をお願いしたいと思います。

(2) 令和元年度における活動概要について

資料により、事務局から説明

委員　補導に回っているが、子どもを見かけなくなった。以前なら、この場所にたくさんいたのに・・・！と、思うところはない。一体どこへと思うけれど、先ほどの話で、ネットどうして繋がっているから外へ出る必要がないのか。

議長　各地区で児童等は減っている状況か。学校の方で、どのように把握していますか。

事務局　休日等の過ごし方に関して、やはり携帯電話・スマートフォンを持っている児童、生徒は増えていて、そのために、外出をしなくてもネットで繋がっているなどということがあると思われますので、休日等に子どもを見かけることが少なくなっている要因になっていると思われます。

家庭によっては、子どもに与える時に、ルールを決めて買い与える家庭もあります。

しかし、無制限に使用をしているようなこともあるので、買い与える時に、ルールづくりをすることが、大事だと思います。

また、携帯電話などに関わって被害が発生した場合に本人のことや、例えば画像などが拡散するなどが起こった時には、やはり警察の力をお借りしないと被害が大きくなり、取り返しのつかないことにもなります。警察から学校の方への注意喚起もなされていて、子どもたち、保護者への啓発を進めています。

事務局　夏休みに入り、ゲームセンターで問題をかかえる生徒を見かけることが増えてきました。先日は、あるスーパーの自転車置き場で、たばこを吸おうとしていた生徒を注意して、未然に防ぐことができました。

子どもたちを見かけることが少なくなってきたとは言え、まだ課題は、青少年センターはもちろんのこと地域の中に残されていると思いますので、ぜひとも非行防止に今後ともご協力をいただきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

議長　他に、ご質問等がないようですので、今年度の活動概要に沿った活動をいただくとともに、関係機関の皆様のご協力をいただきながら、子どもたちが犯罪、被害等に陥らないように見ていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。これで、ご協議いただくことは全て終わりました。皆様のご協力を得て、無事に終えることができました。不慣れた進行でお聞き苦しいところも多々あったことと思っております。どうも有り難うございました。

4 その他

司会　事項書4のその他ですが、皆様なにかございますでしょうか。

司会　長時間にわたり、熱心にご審議をいただきまして、ありがとうございました。本日の委員会でご承認いただきました活動方針に基づき、青少年センター主任補導員を中心に、補導活動などを実施し、青少年の健全育成に取り組んで参りたいと考えております。

また、早急に本日ご承認いただきましたことについて、便覧としてとりまとめ広く配布をいたしたいと思っております。

今後とも、伊賀市の未来を担う青少年の健全育成のために、委員の皆様のご指導、ご支援を賜りますようお願いを申し上げます。

これで、第1回伊賀市青少年センター運営委員会を終了させていただきます。

本日は、本当にありがとうございました。